

# 長野の林業

No.  
404  
2026.3.10

## 特集

### トピックス

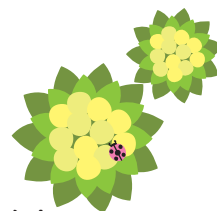
### 地域の話題

### 県森連だより

架線集材全国サミット  
長野県ふるさとの森林づくり賞・スマート林業報告会

- ・山火事予防・きのこ料理コンクール
- ・カラマツ林業等研究会の発表会
- ・林業士認定授与式
- ・松本地域/北信地域

山火事を  
起こすも防ぐも  
私たち



山火事予防運動実施中



【2/6 架線集材視察の現場】  
根羽村



【2/5 架線集材全国サミット】  
木曾文化公園文化ホール(木曾町)

令和8年2月5日(木)～6日(金)に「架線集材全国サミット」を全国で初めて開催しました。全国41都道府県から約450名の方が参加され、架線集材の最新の動向について共有するとともに、パネルディスカッションを通じて今後の展望についても議論しました。また、2日目には、最新機械を活用して架線集材に取り組む現場の視察を行い、実機を通じて最新技術の要点やノウハウを学ぶ絶好の機会となりました。(詳細は2ページに記載)



長野の林業  
フルカラー版

# 「架線集材全国サミット

## 「空にカケル道が林業の未来を創る」を開催しました

木曾谷・伊那谷は、森林・林業の教育機関や試験研究機関が集積し、豊かな森林資源と木や森の歴史と伝統が息づく、全国的にも特色を備えた地域です。長野県では、この地域を「木曾谷・伊那谷フォレストバレー」に位置づけ、人材育成とイノベーション創出の拠点化を目指しています。急峻な地形の中で発展してきた架線集材技術も大きな強みであり、現在は最新機械を活用した安全で効率的な作業が行われています。こうした取組を全国へ発信するため、令和8年2月5日に木曾町で「架線集材全国サミット」を初開催し、41都道府県から約450名の参加がありました。

基調講演では、森林利用学会会長の鈴木保志・高知大学教授から「作業システムにおける架線集材の可能性」についてお話しいただきました。傾斜30度以上の急峻地が多い地域では架線集材が欠かせないこと、また適地であっても技術継承の難しさに加え、タワーヤーダ導入には10ヘクタラス対応の路網整備や高額な導入費が必要となるといった課題が挙げられました。一方で、近自然施業への対応、作業システムの国産化、路網との一体整備など、今後の発展に向けた方向性も示されました。

続く先進事例報告とパネルディスカッションでは、県内外で架線集材や機械開発に取り組む4名の皆様から事例を紹介いただいたのち、植木達人・信州大学名誉教授をコーディネーターに議論が行われました。「架線集材の現状と課題」「省力化と安全性の両立」「技術定着の条件」などをテーマに、現場からは作業の数値(定量)化による安全性向上や若手育成の取組が紹介され、行政からは技術者育成、機械導入支援、相互交流の推進について説明がありました。

翌6日には、根羽村で平澤林産有限会社が実施する最新の油圧式集材

機を用いた現場を視察しました。初めて油圧式集材機を目にする参加者もおり、架設・撤去の手順や安全対策など、実機を通じて最新技術の要点を学ぶ貴重な機会となりました。

本サミットを通じ、架線集材への関心と期待が全国的に高まっていることが改めて明らかになりました。同時に、安全性と経済性の両立、技術継承といった課題は地域を超えて解決すべきテーマであり、今後も全国的な連携が欠かせません。副題に示した「空にカケル道(架線集材)」は、急峻地での安全・効率的な集材を可能にし、環境負荷の低減や全木集材による生産性向上など多くの利点を持つ、まさに持続可能な「林業の未来を創る」技術です。

長野県としても、架線集材技術の継承と更なる発展に向け、関係者と協力しながら引き続き取組を進めていきます。



【2/5架線集材全国サミット(木曾町)】



【2/6現場視察(根羽村)】



↑ 詳細はコチラ  
(長野県ホームページ)

【林務部信州の木活用課】



長野県きのこ料理コンクールが開催されました

令和7年度長野県きのこ料理コンクールが、信州きのこ祭り推進協議会主催により開催されました。長野県が生産量日本一を誇るきのこをメイン食材にした、アイデアに富む料理を募集し、優秀な作品を広く公開することにより、多くの方に美味しく食べていただき需要を拡大することを目的として開催しています。

本年度は応募総数64点の中から、書類審査により選抜された8名が、実演審査として実際に料理を作り審査員(学校法人石坂学園石坂健一副校長他4名)が試食をして審査を行い、最優秀賞他4点を選出しました。最優秀賞に輝いた瀧澤明花さんの「きのこたっぷりのびーるチーズおやき」は、米粉を使った生地が外はカリカリ、中はモチモチとしており、きのこの風味をしつかり感じられる点が評価された作品でした。

開催にあたり長野都市ガス株式会社様には会場の使用など多大なる御協力をいただきました。

受賞作品のレシピは、コミュニティウェブサイトの「クックパッド」長野県公式キッチンに掲載する予定です。

クックパッド  
長野県公式キッチン  
はこちらから↓



長野県きのこ料理コンクール受賞者一覧 (敬称省略)

賞の名称	作品名	氏名
最優秀賞	きのこたっぷりのびーるチーズおやき	瀧澤 明花
優秀賞	えのきたけのカツレツ風～えのきたけソース添え～	遠山 在音
優秀賞	信州きのこたっぷり坦々スープ	古沢 愛海
優秀賞	舞茸香るごろっとケーキサレ	小宮山 乃愛
優秀賞	鶏肉とキノコのトマト煮～甘酒仕立て～	脇坂 日向



最優秀賞(長野県知事賞)  
きのこたっぷりのびーるチーズおやき

【信州の木活用課】

【山火事にご注意を】

春の山火事予防運動を実施中です

春は乾燥や強風の日が多く、例年山火事が多発しています。出火原因の多くは「たき火」や「火入れ」です。

↓火災予防を意識し、次の点を必ず守りましょう↓

- ① 乾燥・強風の日には火を使わない
- ② たき火や火入れは複数人で行う
- ③ 火から目を離さない
- ④ 消火用の水を準備する
- ⑤ 使用後は完全に消火する
- ⑥ たばこの投げ捨ては絶対にしない

春の山火事予防運動

- ・期間: 令和8年2月1日～5月31日
- ・標語: 「山火事を起こすも防ぐも私たち」
- ・内容: 山火事予防パトロール、ポスター掲示、ラジオ放送による啓発等



！発令時は屋外での火の制限を守ってください！

林野火災注意報

火の使用制限の努力義務

(林野) 火災警報

火の使用制限の義務

違反した場合、罰則 (30万円以下の罰金又は拘留)

【お問い合わせ】  
長野県林務部森林づくり推進課 造林緑化係  
〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2  
(026)235-7270 (shinrin@pref.nagano.lg.jp)



県ホームページ



県プレスリリース

# カラマツ林業等研究発表会を開催しました 「伐って・植えて・使おう!!」

昭和54年に設立したカラマツ林業等研究会は、信州を代表するカラマツを中心として、森林の健全育成から県産材の利用に至る幅広い分野について効果的な研究等を行い、その振興を図るため、発表会を開催しています。

1月13日(火)に県総合教育センターで開催した発表会では、県外参加者も含む約150名の皆様が来場する中、次の6つの研究等の発表が行われました。

- 主伐・再造林の推進から見た課題と対策**  
長野県 佐久地域振興局 林務課 泉川 尚久
- 機械による掻きおこし箇所天然更新及び下刈省力化への効果の検証**  
中信森林管理署 業務グループ 外山 祐紀  
横山木材有限会社 小口 真澄
- ここまで育つ！1年生カラマツコンテナ苗**  
長野県 林業総合センター 育林部 二本松 裕太
- 木材の持続的価格と造林補助制度下での木材生産林選択**  
信州大学 農学部 森林施業・経営学研究室 守口 海
- たて継ぎ材を用いた枠組壁工法耐力壁の性能把握**  
信州大学 農学部 尾崎 笑実歌
- 県産材利用促進条例と建築物等への活用**  
長野県 林務部 県産材利用推進室 今尾 春彦

今回の発表では、伐る・植える・使うという今の時代に見合う分かりやすい発表や、試験研究成果等が発表されました。

今後もカラマツ林業等研究会では、長野県林業の課題と密接に連動しながら、必要な情報を届けてまいります。



発表内容についてはこちら！

## 【信州の木活用課・林業総合センター指導部】



長野県林業士となった(左から)春名さん、古畑さん、渡邊さん

### 林業士に認定された皆様 (敬称略)

氏名	居住地
春名 紗季江	南箕輪村
古畑 慶大	南箕輪村
渡邊 崇治	長野市



森林・林業セミナーや林業士入門講座についてはこちら

## 新たに3名の長野県林業士が誕生しました

令和8年2月10日、長野県林業総合センターで長野県林業士(以下、「林業士」)認定証書授与式を開催し、新たに3名を林業士に認定しました。県では、地域林業の中核的人材として、昭和48年から林業士を養成しており、認定者の累計は576名に上ります。

今回林業士となった3名は、「森林・林業セミナー」と「林業士入門講座」を2年間にわたって受講し、森林・林業に関する基礎的な知識・技術の習得に加え、フィールドワークや修了レポートなどを通じて、地域林業のリーダーとしての資質向上に励んできました。

授与式の来賓祝辞では、長年、林業士の認定審査に携わっている信州大学名誉教授の菅原總さんから、認定者それぞれの視点を大切にして活動を続けるよう励ましの言葉がありました。また、代表挨拶に臨んだ古畑慶大さんは、林業士を目指す過程でお世話になった方々への感謝に加え、自身の強みを活かした地域への貢献など抱負を語ってくれました。新たに林業士となる方々には、地域林業をけん引する重要な役割を担っていただくことを期待しています。



松本地域

# 「WOODコレクション2026」に出展しました

令和8年2月12・13日に、東京ビッグサイトにてWOODコレクション2026(以下、モクコレ)が開催されました。モクコレは、東京都とWOODコレクション実行委員会が主催し、日本各地の木材製品が集まる国内最大の展示商談会です。「植える↓育てる↓伐る↓使う」という森林の循環への寄与を目的に、木材の需要喚起と利用拡大を推進するこの展示会に、今年も、39都道府県から約320事業者が出展しました。

長野県からは全国で最多の32ブース・26事業者が出展し、松本地域からは、11事業者の出展と、8事業者の製品展示による参加となりました。キッチンカウンターや家具、照明といった比較的大きな製品の他、精油やオーナメントといった小さなものまで、県産材を用いた様々な木工製品がブースに揃いました。出展者は製品カタログやチラシを来場者に渡し、製品の特徴やコンセプトの説明をしながら、手に取って質感などを確認してもらい、販売促進につなげていました。

また、当日は商談だけでなく、普段行き会えない事業者間の交流や、他県ブースでの情報収集なども行うことができ、大変有意義な時間となりました。松本地域の木工製品にご興味のある方は、松本地域振興局林務課までお問い合わせください。



テーマ展示 一日本の森を巡る旅一



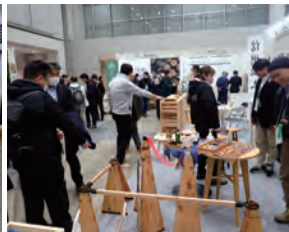
モクコレ2026 HP



ブースで展示した様々な木工製品



松本地域関連ブース出展状況



【松本地域振興局林務課】

北信地域

# 北信地域におけるスギ高密度植栽の調査について

北信地域で主伐・再造林を進めるためには、初期保育のコスト削減を図る必要がある。スギの高密度植栽が下刈り回数削減に効果があるか、令和5年度から豪雪地帯の栄村において調査を実施しています。調査地はバケットによる機械地拵えと人力地拵えを実施し、それぞれ5,000本/ha、3,000本/ha、2,100本/haの区画に分け、令和5年の秋にスギのコンテナ苗を植栽しました。以後、毎年夏に競合状態の調査、秋に成長量の調査を実施しています。令和7年度までの調査では、どの区画もまだ樹冠が閉鎖していません。しかし、地拵え方法による競合植生の成長量の違いは出ていません。状況には差が見られ、人力地拵えの区画では令和6年・7年とも下刈りが必要な状態であった一方で、機械地拵えの区画では2夏経過しても競合植生が少なく、下刈りが不要な状態でした。また、樹高成長に関しては地拵えの違いによる差はありませんでしたが、根元径と樹冠幅は機械地拵えが優位でした。なお、調査地は例年積雪1.5mに達するところですが、現時点では雪による影響は見られていません。この取組は令和9年度まで継続を予定しており、引き続き調査を実施します。



写真 令和6年夏の現地状況 (左：機械地拵え 右：人力地拵え)

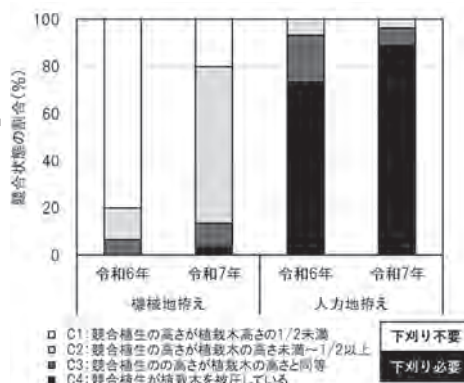


図 機械地拵えと人力地拵えの競合状態の比較

【北信地域振興局林務課】

## 令和7年緑の募金のご報告

緑の募金にご協力いただき、ありがとうございました。  
 県民の皆様からいただいた募金額は**49,948,619円**となりました。  
 皆様の地域で、さまざまな緑づくりに活用されました。



皆様からいただいた

### 緑の募金は

各地区での身近な緑化活動や、森林ボランティア団体等を対象とする公募事業、みどりの少年団育成などに大切に活用されています。



### 緑化の推進および森林の整備

- ・公共施設の緑化、植樹・育樹祭の開催
- ・緑化木の配布
- ・住民参加による下刈り・除間伐
- ・学校林遊歩道の整備など



### 人づくり

- ・みどりの少年団の育成等
- 長野県内177団（令和7年4月1日現在）

### 少年団の夏のつどい



## 各地区の緑化活動



**佐久地区**  
 小諸市高峯国有林で佐久地域森林祭を開催し佐久穂町出身の2025ミス日本みどりの大使佐塚ころもさんも参加しカラマツ1,150本を植樹しました。



**下伊那地区**  
 みどりの少年団交流集會に団員150名が阿南少年自然の家に集い、ウォークラリーと山桜のスプーンとバターナイフのヤスリ掛けを行いました。



**大北地区**  
 白馬グリーンスポーツの森で大北地区みどりの少年団交流集會を開催し約140名が森林クイズラリーや木工工作を行い交流を深めながら活動できました。



**上田地区**  
 上田市東御市真田共有財産組合林で「UE森2025～上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い～」を開催し約2,000本のカラマツを植えました。



**木曾**  
 王滝村松原スポーツ公園でみどりの少年団交流集會を開催し145名が参加しました。丸太を伐りクイズラリーなど学校でできない活動を楽しみました。



**須高地区**  
 小布施町では190本の苗木頒布を行いました。大勢の町民にご参加いただき、緑豊かなまちづくりのきっかけとなるよう継続していきたいと思ひます。



**諏訪地区**  
 原小学校4年生が学校林で間伐をすることで災害を防いだり、健康な木が育つ事を教わり、大きな木を切るという初めての間伐体験を楽しみました。



**松本地区**  
 麻績村で松本地区育樹祭を開催し、みどりの少年団など約100名が聖湖周辺の景観整備のための除伐作業と、イロハモミジ等の苗木を植えました。



**長野地区**  
 109名の団員が一の鳥居苑地に集まり、みどりの少年団交流集會を開催。マルタンピックやツリーウォッチング、木工クラフトで交流を深めました。



**上伊那地区**  
 飯島町与田切公園で上伊那地区みどりの少年団団員51名が交流集會を開催しました。自然観察、モルック等を楽しみながら、交流を深めました。



**北信地区**  
 野沢温泉村で、令和7年度北信州森林祭第75回長野県植樹祭を開催。約200名にご参加いただき、コナラ・クヌギ300本を植樹しました。

## 公益財団法人 長野県緑の基金



長野市大字南長野字幅下692-2  
 電話026-232-0111(内線4819)  
 Email: [green@midori-joho.gr.jp](mailto:green@midori-joho.gr.jp)  
<https://www.midori-joho.gr.jp/>

● 緑の募金は皆さまの自発的な協力を基礎とするものです ●



長野労働局長登録教習機関 長野県知事認定職業能力開発校

# 一般社団法人 中部労働技能教習センター

労働安全衛生法に基づく資格取得講習を実施しています

## 未来に活かせるライセンス

## 52年の歴史と34万人の実績

中部労働技能教習センターは、昭和49年の設立以来、常設の多目的教習機関としてクレーン及び移動式クレーンの実技教習並びに車両系建設機械、小型移動式クレーン、フォークリフトなど、各種技能講習および特別教育の資格取得講習を実施しています。

受講しやすいきめ細かな年間計画により、どなたでも運転資格等が取得できるように、経験豊かな講師陣がお待ちしています。

### 当センターで取得できる主な資格

#### 実技教習（免許教習）

- ・クレーン・デリック運転士免許
- ・移動式クレーン運転士免許

#### 技能講習

- ・車両系建設機械（整地等）運転
- ・車両系建設機械（解体用）運転
- ・車両系建設機械（基礎工事用）運転
- ・不整地運搬車運転
- ・高所作業車運転
- ・小型移動式クレーン運転
- ・床上操作式クレーン運転
- ・玉掛け
- ・フォークリフト運転
- ・ショベルローダー等運転
- ・はい作業主任者

#### 特別教育

- ・クレーン運転
- ・小型車両系建設機械（整地等）運転
- ・ローラー運転
- ・高所作業車運転
- ・フォークリフト運転
- ・巻上げ機（ウインチ）運転
- ・ロープ高所作業
- ・フルハーネス型墜落制止用器具



＜ 長野県下、3会場で講習を実施しています ＞

※実施会場が限られている種目があります。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

飯田会場 / 〒395-0154 長野県飯田市下殿岡478-1  
(本部) <https://www.ginosenta.or.jp>  
E-mail: info@ginosenta.or.jp

☎ 0265-25-4444 FAX 0265-25-4455

中部労働技能教習センター



長野会場 / 〒381-1225 長野市松代町東寺尾2681-3

FAX 026-278-9255

松本会場 / 〒390-0851 松本市大字島内(小宮)729-1

FAX 0263-47-4443

Webサイト



令和8年度  
長野県森林組合連合会通常総会



▲藤原会長による挨拶

長野県森林組合連合会の第89回通常総会が、令和8年2月27日に長野県林業センタービル(長野市)にて、来賓・会員の皆様に多数出席を賜り、開催されました。当日は、森林組合綱領の唱和、吉田副会長の開会に続き、藤原会長による挨拶が行われ、ご来賓の皆様からそれぞれ祝辞をいただきました。

議事は、南佐久北部森林組合の島崎代表理事専務を議長に、第1号議案・令和7年度事業報告等に始まり、第10号議案まで審議の上、原案どおり承認・決定されました。また、閉会後には系統利用優良森林組合への感謝状贈呈及び永年勤続職員表彰(専任職員24名、技能職員31名)が行われました。

系統利用  
優良森林組合

【木材販売事業】  
長野・松本広域・上伊那  
北アルプス・北信州

【購買事業】  
信州上小・松本広域  
長野・飯伊・上伊那



◀審議の様子

令和7年度 事業報告

令和7年度は、地球温暖化の影響による異常な乾燥・強風や線状降水帯の発生に伴い、全国各地で大規模な林野火災や集中豪雨による山地崩壊等が発生し、災害に強い健全な森林づくりによる国土の強靱化の重要性を強く認識する一年となりました。

指導事業では、森林組合の健全な組織運営、執行体制の強化、コンプライアンス態勢の構築等を目的に各種研修会の開催や情報提供に努めるほか、会員組合の事業運営に支障が生じないよう必要な予算額の確保に向け、国や県、県議会等へ要望活動を行いました。

販売事業では、大型工場の減産体制は依然として続き、運送コスト増など大変厳しい状況にありましたが、コスト削減を心がけた直送販売や市売での広葉樹集荷による高値販売を行い、木材価格維持に務めた結果、年間取扱量は17万7千m<sup>3</sup>、取扱高は25億円となりました。加工事業は県内外からの地盤改良材の需要が増加し、計画を達成できました。森林保険の取扱い面積は前年より増えたほか、購買事業では松くい虫対策薬剤や労働安全対策資材等の増により計画を上回りました。

各森林組合との連携強化を目的に組合長会議を年3回開催しました。事業全体では、取扱高30億円、経常利益はおおよそ71百万円となりました。

令和8年度 事業計画

本年は、世界情勢の不安定化による物流の停滞や資材・燃料価格の高騰など経済活動の先行きは依然不透明ですが、昨年3月に制定された「信州の豊かな森林と環境を守る県産材利用促進条例」に基づいて見直される県産材利用方針により公共建築物等での県産材利用拡大が期待されます。また、地球温暖化に伴う気候変動で山地災害や林野火災等の自然災害が激甚化しており、森林の持つ機能と果たす役割は一層重要度を増しています。

森林組合の円滑かつ適正な組織運営や事業執行に資するよう、組合からの要望等を踏まえ研修会や指導監査を行い、各種情報提供、相談業務に努め、森林組合システムを取り巻く様々な課題の解決に向けて、国、県や県議会等へ要望活動を積極的に行ってまいります。

木材の市場価値が高まるよう生産者への助言等を行うほか、会員、他県森連との連携等を通じて有利販売に努め、会員への経済的還元を図ります。また、林業における業務の効率化・省力化は必須であり、納材と需要に応じた供給の進捗管理システムやICTを活用したスマート林業技術の習得や普及に向けた研修会の開催等を行います。林業、森林組合の発展や森林整備の充実につなげるよう努めてまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。



▲アルクマと各団体の代表者が揃っての共同宣言

降水量が少なく、空気が乾燥し、強風が吹くことが多く、火災のリスクが高まる季節となり、県内外で林野火災が相次いでいます。1月28日に長野県庁にて、長野県、長野市町村会、長野町村会、長野県農業協同組合長野中央会、長野県消防長会、長野県消防協会、長野県森林組合連合会の7団体からは藤原忠彦代表理事会長が出席しました。

**林野火災防止 共同宣言を  
行いました**

県内で初めての取り組みとなる共同宣言には、安全な火の取り扱いを徹底することや、乾燥や強風で林野火災の危険性が高まった場合に林野火災注意報・警報を適切に発令すること、林野火災の危険性の啓発を強化することの3つの項目が謳われており、県民に広く周知するものです。

今回の宣言を踏まえて、当会はこれまで以上に林業に従事される全ての皆様と連携し、山に入って作業をする際は火の取扱いに十分に注意し、林野火災を起こさないよう防火意識をより一層高めてまいります。

また、県内各地の森林組合協力のもと、当会のPRキャラクター「もりる&ねりる」を使った啓発ステッカーを車両に貼って走行し、火災予防の重要性を地域の皆様に広く呼びかけを行うなど、大切な山を守るために地域一体となって林野火災防止に取り組んでまいります。

県内で初めての取り組みとなる共同宣言には、安全な火の取り扱いを徹底することや、乾燥や強風で林野火災の危険性が高まった場合に林野火災注意報・警報を適切に発令すること、林野火災の危険性の啓発を強化することの3つの項目が謳われており、県民に広く周知するものです。

今回の宣言を踏まえて、当会はこれまで以上に林業に従事される全ての皆様と連携し、山に入って作業をする際は火の取扱いに十分に注意し、林野火災を起こさないよう防火意識をより一層高めてまいります。

また、県内各地の森林組合協力のもと、当会のPRキャラクター「もりる&ねりる」を使った啓発ステッカーを車両に貼って走行し、火災予防の重要性を地域の皆様に広く呼びかけを行うなど、大切な山を守るために地域一体となって林野火災防止に取り組んでまいります。



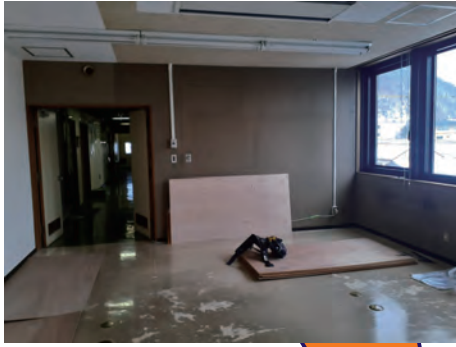
▲車両に貼ったステッカー  
たき火や火入れでの火の取り扱いに十分注意することはもちろん、植栽木への被害の備えとして森林保険の加入も忘れずに

## 県森連だより特別ふ3く!

**林野火災防止 まちがいさがし&ぬりえ** まちがいはぜんぶで13こあるよ!



長野県森林組合連合会公式PRキャラクター「アルクマ」 ©長野県アルクマ



Before



After

木のいい香り！



色合いが優しくて、やすらぐね♪

この度、長野県森林組合連合会本所事務所（長野市）会議室の内装の木質化を行いました。長野県産材の流通に携わるなかで、普段自らが過ごす職場においても、より木材に親しみを持てる環境が望ましく、また、県内外から迎える来訪者に県産材をPRする空間を創出したいという要望から「長野県森林づくり県民税 令和7年度木造・木質化支援事業」を活用して、実現しました。全て長野県産材で調達し、床材にはアカマツのフローリング材を敷き、腰板にはスギとヒノキを、テーパーの天井にはクリを使用しました。

木造・木質化支援事業を活用して会議室の内装を木質化しました！

令和7年度の募集は既に終了していますが、ぜひ、県産材を使った木の空間づくりに、活用をご検討ください。



▲当事業を活用したスギ林の伐採前（上）と伐採後（下）

国民の4割が罹患していると言われるスギ花粉症への対策が求められている中、令和5年10月に総理主導によって具体的に花粉症対策が示され、10年後までに花粉症発生源となるスギ人工林を2割減少させること目指して、伐採、植替えの加速化が全国で進められています。そうした背景から、当事業ではスギ等の主伐の働きかけを行った林業経営体に森林経営計画策定にかかる費用として12万円/haが、伐採・植替えを実施した森林の所有者に最大35万円/haが助成されます。長野県森連が事業参加者となつて取りまとめ、令和5年度補正では栄村森林組合で、令和6年度補正では飯伊森林組合、長野森林組合、栄村森林組合で事業を実施しました。スギ人工林を所有し、伐採を検討される方はお近くの森林組合にご相談ください。



▲腰板はモザイク状に仕上げられ、おしゃれな空間づくりに活かされている。

花粉の少ない森林への転換促進事業を活用し、主伐・再造林を進めています。



# 植える木に 夢がふくらむ 緑の郷土

令和8年  
国土緑化運動標語

一般社団法人

## 長野県林業センター

理事長 藤原 忠彦 副理事長 水本 豪  
副理事長 宮崎 正毅 常務理事 丸山真一郎

## 長野県森林組合連合会

代表理事会長 藤原 忠彦 副会長理事 吉田 満男  
代表理事専務 村松 敏伸

## 長野県林業団体協議会

会長 村松 敏伸 副会長 藤原 忠彦  
副会長 宮崎 正毅 副会長 水本 豪

## 長野県木材協同組合連合会

理事長 宮崎 正毅 副理事長 麥島 照幸  
副理事長 佐原 良彦 副理事長 峯村 宗次  
副理事長 澤柳 浩成 専務理事 柴田 昌志  
副理事長 新井 藤弘 事務局長 松本 寿弘

## 林業・木材製造業 労働災害防止協会 長野県支部

支部長 宮崎 正毅 幹事長 柴田 昌志  
副支部長 村松 敏伸 事務局長 田中裕二郎

## 信州木材認証製品センター

理事長 宮崎 正毅  
副理事長 鈴木 吉明 専務理事 柴田 昌志  
副理事長 村松 敏伸 事務局長 松本 寿弘

一般財団法人

## 長野県林業労働財団 長野県林業労働力確保支援センター

理事長 丸山 勝規

「森林・林業の総合アドバイザー」

一般社団法人

## 長野県林業コンサルタント協会

理事長 羽田 健一郎

## 長野県治山林道協会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

## 長野県水源林造林協議会

会長 白鳥 孝

## 長野県山林種苗協同組合

理事長 神戸 直日 副理事長 三石 和久  
常務理事 松尾 一穂

## 長野県林業薬剤防除協会

会長 牧 司

## 長野県造林協会

会長 藤原 忠彦

## 宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮澤 遙

損害保険代理店・緑化事業設計施工・墓石

## 株式会社 モリレン長野

## 上小林業振興会

会長 羽田 健一郎 役職員一同



私達も緑化推進運動に協力しています。



# 育てよう 未来を照らす 希望の木

令和8年  
育樹運動標語

## 佐久森林林業振興会

役職員一同

## 上伊那山林協会

役職員一同

## 諏訪地域<sup>もり</sup>森林づくり ・林業振興会

役職員一同

## 木曾山林協会

会長 越原 道廣 役職員一同

## 下伊那山林協会

役職員一同

## 木曾森林組合

代表理事 原 久仁男 役職員一同  
組合長

## 松本地域森林林業振興会

役職員一同

## 日本林業土木株式会社

長野出張所 所長 木村 敏宏  
長野市中御所岡田町 30-16 ☎ 026-227-6185

## 長野国有林森林整備協会

会長 由井 正隆  
副会長 篠原 明  
専務理事 酒井 省三

長野市大字稲葉字母袋沖 612-2 ☎ 026-285-9070

一般社団法人

## 長野県林業普及協会

会長 山崎 明

## 信濃化学工業株式会社

代表取締役社長 小野 大輔  
長野市桐原 1-2-12

一般社団法人

## 日本森林技術協会

長野事務所 所長 油井 章次郎  
長野市中御所岡田町 30-16 ☎ 026-217-2660

## 有限会社 高遠興産

代表取締役 林 敏行  
伊那市山寺 1558-1

## 瑞穂木材株式会社

代表取締役社長 宮崎 淳貴  
下高井郡木島平穂高 3228-1

林業用薬剤とグリーンメンテナンス



## アグロ信州

## 平澤林産有限公司

代表取締役 平澤 照雄  
伊那市西春近 4105



# 植える木に 夢がふくらむ 緑の郷土

令和8年  
国土緑化運動標語

## 南佐久北部森林組合

代表理事 佐々木 勝 役職員一同  
組合長

## 南佐久中部森林組合

代表理事 黒澤 和夫 役職員一同  
組合長

レストラン 四季の味 樹木里

## 南佐久南部森林組合

代表理事 由井 明彦 役職員一同  
組合長

緑を育て山を守る

## 佐久森林組合

代表理事 山岸 喜昭 役職員一同  
組合長

緑の担い手

## 信州上小森林組合

代表理事 石井 公彦 役職員一同  
組合長

## 諏訪森林組合

代表理事 藤森 良隆 役職員一同  
組合長



もりもり上伊那

## 上伊那森林組合

代表理事 白鳥 孝 役職員一同  
組合長



## 飯伊森林組合

代表理事 佐藤 健 代表理事 吉澤 悦史  
組合長 専務 役職員一同

信州根羽すぎ・根羽ひのき

## 根羽村森林組合

代表理事 大久保 憲一 役職員一同  
組合長

## 和合森林組合

代表理事 村澤 博光 役職員一同  
組合長

## 木曽南部森林組合

代表理事 坂家 重吉 役職員一同  
組合長

## 南木曽町森林組合

代表理事 堀 賢介 役職員一同  
組合長

## 松本広域森林組合

代表理事 吉田 満男 役職員一同  
組合長



## みどり産業株式会社

代表取締役 篠原 明

本社 長野市稲葉2413-3 ☎026-224-8708

## 北アルプス森林組合

代表理事 割田 俊明 役職員一同  
組合長

## 長野森林組合

代表理事 和田 智 役職員一同  
組合長



私達も緑化推進運動に協力しています。



# 育てよう 未来を照らす 希望の木

令和8年  
育樹運動標語

## カラ松日本一を目指します



### 東信木材センター協同組合連合会

小諸市甲字鞍掛4747 電話 0267-23-0887  
FAX 0267-22-1293

## 信州の木認証合板で 地産地消の緑の循環



針葉樹合板のパイオニア  
**林ベニヤ産業株式会社**

(本社) 06-6228-1401  
(七尾工場) 0767-52-4376  
(舞鶴工場) 0773-68-0306  
(北陸営業所) 0767-52-4376

## 北信州森林組合

代表理事 山崎 明 役職員一同  
組合長

## 栄村森林組合

代表理事 久保田 道一 役職員一同  
組合長

## 南安曇木材協同組合

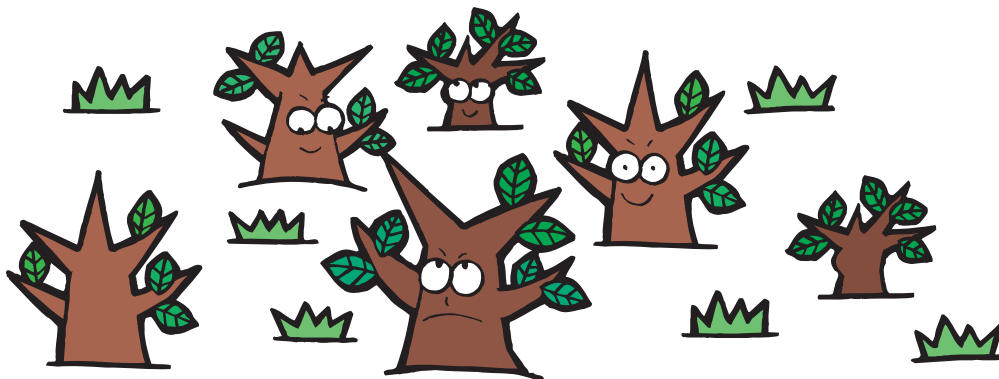
組合理事長 佐原 良彦  
安曇野市穂高7940番地27

## 齋藤木材工業株式会社

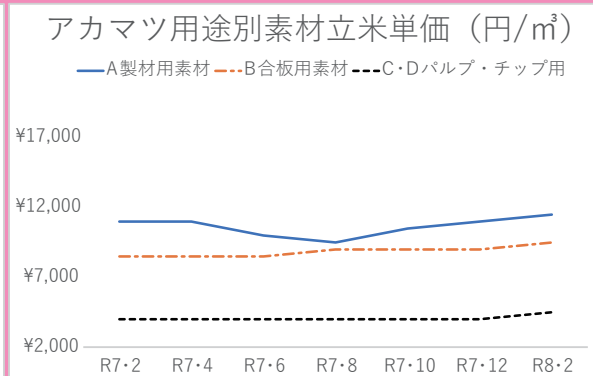
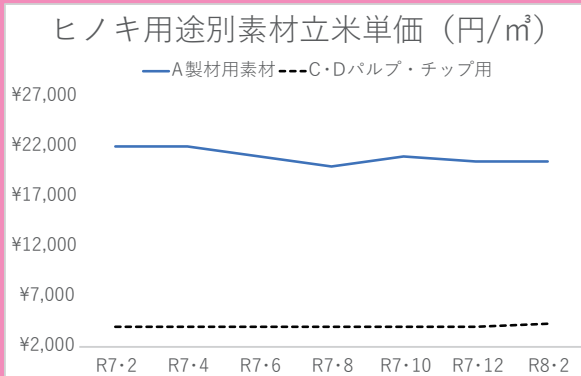
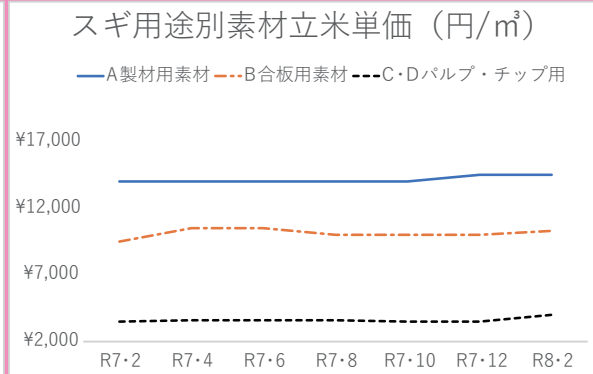
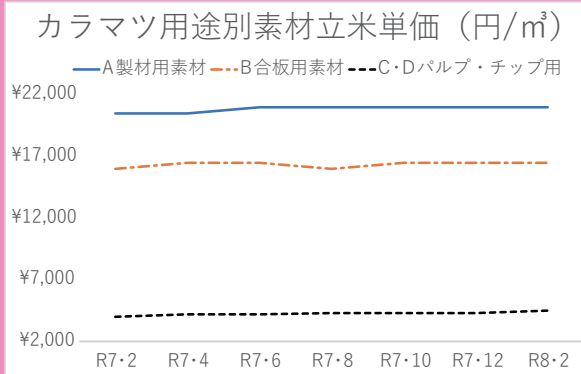
代表取締役社長 齋藤 健  
小県郡長和町古町4294

## 木曾官材市売協同組合

理事長 勝野 智明



# JForest 長野県の木材市況



※北信、中信、伊那木材センターの市況表より作成

ミラノ・コルティナ冬季五輪では長野県出身選手の活躍もあり、レジェンドの勇退や幾多のメダル獲得に感動を呼び大変盛り上がりましたが、北信木材センターと中信木材センターでは特別市である「広葉樹祭り」が開催され、ホオ、クルミ、さくらなどの大径材に加え、ナラやセン、トチなどの良質材、クリ、ナラ、さくら、カエデの一般材と多数のご出品をいただきました。伐り匂ともあり、良質材に応札が集中して高値での取引が行われ、一般材も引き合いが活発で、特別市にふさわしい結果となりました。伊那木材センターでもヒノキ、ナラ等、多くの良材が出品され、賑やかな市売結果となりました。

製材用丸太については、ヒノキ・スギは需要が維持し、カラマツは依然として原木不足による需要が手堅くあります。合板用丸太も原木不足が続き、需要が保たれていますので、積極的なご出品をお願いいたします。各木材センターでは、需給に応じた仕分け・極積みをしてまいりますので、これから伐採を計画されている方はご相談ください。引き続き、集荷のご協力をお願いいたします。

**【長野県森林組合連合会は合法木材に取り組んでおります】**

合法木材供給事業者の登録をお願いするとともに、出荷の際には、納品書に合法木材認定番号を記載し、令和7年4月1日施行の「クリーンウッド」法に伴い、合法的に伐採された木材であることの証明する書類（伐採届、森林経営計画認定書等）の提出をお願いいたします。

※安全のため荷下ろし・積込の際には車止め、またヘルメットの着用をお願いします。



県森連 HP では市売情報を写真付きで随時更新しております！

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください！

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪

